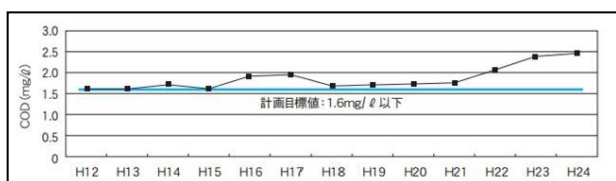


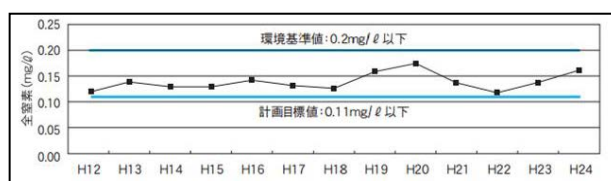
●陸奥湾水質保全対策【青森県】

【経緯】

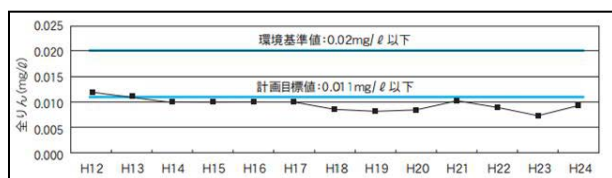
陸奥湾は、閉鎖性の強い水域であるため、いったん汚濁が顕在化するとその回復に多大な時間を要することになります。同時に、元の水質の状態に回復させることも難しくなります。以下に示した平成12年から平成24年までの陸奥湾のCOD、全窒素、全リンの経年変化を見ると、陸奥湾は国の定めた環境基準を比較的清澄な水質の状態にあることがわかります。（※COD,全窒素及び全リンの値は全調査地点（15箇所）の平均値）



陸奥湾のCODの経年変化



陸奥湾の全窒素の経年変化



陸奥湾の全リンの経年変化

【主な活動主体】

青森県

【活動状況・成果】

青森県では、陸奥湾の良好な水質環境を将来にわたって維持していくために、平成8年度から「むつ湾アクアフレッシュ事業」を実施し、平成9年5月には、総合的かつ長期的な展望に立った陸奥湾の環境保全の基本指針となる「むつ湾アクアフレッシュ計画」を策定しました。また、「むつ湾アクアフレッシュ協議会」（県、関係市町村及び関係団体等で構成）を設立し、生活排水対策として下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽の設置の推進、海岸防災林の造成、漁民の森づくり活動推進事業及びエコ・クッキング発表会等の水質保全活動を実施してきました。同計画は平成17年度で終了し、陸奥湾の水質保全施策については、平成18年度から生活創造プランにおける「美しいふるさとの水循環推進プロジェクト」により推進し、各種施策を実施しました。